

## 9月24日～30日は結核予防週間です。 2020年までに日本を低蔓延国に

結核は、世界で年間約870万人が新たに発病し、140万人が亡くなる世界3大感染症の1つです。日本では、年間2万人以上が発病、罹患率（人口10万対）16.1は、欧米諸国と比較すると4～5倍高い「中蔓延国」です。

WHOの2015年以降の世界結核戦略が新たに策定され、日本も結核の世界的流行を終息させる目標の達成に貢献するために、厚生労働省、外務省、JICA、結核予防会、STBJは共同で「ストップ結核ジャパンアクションプラン」を改定。厚生労働省は、2020年までに日本が低蔓延国となることを目指し、徹底した対策を実施することを宣言しました。

9月24日～30日は、厚生労働省が定めた結核予防週間です。結核について知ってもらう1週間です。結核は過去の病気と思われがちですが、現代の事情と結びつき新たな展開をみせています。

**日程：9月11日（木） 11：00～11：40**

**場所：厚生労働省記者会**

① ストップ結核ジャパンアクションプランの改定

田中慶司（ストップ結核パートナーシップ日本事務局長）

・改定のポイント

日本を低蔓延国へ

世界の目標「結核の世界的流行の終息」に貢献するための技術革新

② 平成25年国内結核の概況 加藤誠也（結核研究所副所長）

～低まん延化の実現に向けた課題～

③ 結核対策の技術革新 ～世界に対する日本の貢献～

森 亨（結核研究所名誉所長、ストップ結核パートナーシップ日本代表理事）

岡田耕輔（結核予防会国際部部長、ストップ結核パートナーシップ日本常任理事）

**<このリリースに対する問い合わせ先>**

認定NPO法人 ストップ結核パートナーシップ日本（STBJ）

（担当）宮本

TEL/ 03-5282-3010

FAX/ 03-5980-8267

メール/ [ayakomiyamoto@stoptb.jp](mailto:ayakomiyamoto@stoptb.jp)